

CHARGE

2022 Winter VOL. 94

安全自動車ホームページがリニューアルしました!



安全自動車ホームページに、理想の整備工場をイメージしたイラストを設置! 乗用車工場、大型車工場に分かれており、製品を視覚的に探すできるようになりました。工場にこんな製品があれば便利なのに…、製品の内容を詳しく知りたい等、そんなお客様の悩みに応えるホームページへとリニューアルいたしました!

1 QRコードからアクセス

2 製品イラストにカーソルを持っていくと製品名が表示されます

3 クリックすると製品情報や製品カテゴリへ移動します

ANZENニュース

自動車業界の旬な情報をお届けするブログ形式の「ANZENニュース」を毎月更新しております。トップページの上部バナー、もしくはお役立ちツールからご覧いただけます。ぜひ一読ください

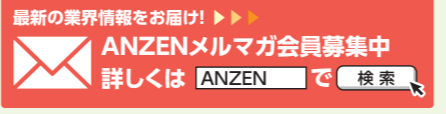


読みたい記事を
クリック!
カテゴリごとに
分類されています



メールマガジンの配信

「ANZEN ニュース」の導入記事をメールマガジンにて配信! 自動車業界の時事情報や最新製品情報など、様々なお役立ち情報を配信いたします。ご興味のある方はホームページ、もしくは最寄りの営業所までお問合せください



TOP MESSAGE

自動車業界の進化に対応し、半歩先の情報、商品を提供してまいります

新年あけましておめでとうございます。
2022年は新型コロナが終息に向かい、自動車業界全体が良くなっていくことを期待しております。
2021年の自動車業界は新型コロナ、半導体不足に加え、原材料の高騰、部品の長納期等、厳しい事業環境に陥りました。
その厳しい事業環境下でも、自動車業界は確実にその歩を進めました。
世界ではカーボンニュートラル実現に向け、クルマの電動化が進みました。
日本国内では2024年10月に施行するOBD車検に向かって、特定整備認証が加速しました。
当社の活動テーマとしましては、昨年に引き続き、自動車業界の進化を見据え、お客様の半歩先に行く先見性を持つことだと考えております。
新型コロナ禍でも、自動車業界は進化の歩みを止めませんでした。これからは自動車整備の安心・安全、効率・省力作業を実現するだけでなく、自動車業界のカーボンニュートラル対応をも踏まえた、情報、商品を提供することによって、お客様に喜んでいただき、必要とされる存在を目指してまいります。
今後ともご指導・ご鞭撻を賜り、ご期待に沿えるよう社員一丸となって取り組んでまいります。本年も皆様の益々のご健勝ご活躍をお祈り申し上げます。



代表取締役社長 中谷 宗平

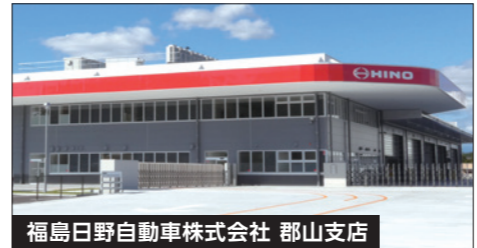
- ANZEN** 〒108-0023 東京都港区芝浦4-16-25
安全自動車株式会社 TEL(03)5441-3412 FAX(03)5441-8848
ANZENホームページ <https://www.anzen.co.jp>
- | | | |
|---------|---------------------|---------------------|
| 札幌支店 | 札幌市中央区南19条西8-2-21 | TEL(011)511-6241(代) |
| 釧路営業所 | TEL(0154)24-0161(代) | |
| 仙台支店 | 仙台市宮城野区日の出町2-2-8 | TEL(019)637-8711(代) |
| 盛岡営業所 | TEL(029)241-0932(代) | |
| 水戸営業所 | TEL(025)274-7131(代) | |
| 新潟営業所 | TEL(025)274-7131(代) | |
| 東京支店 | 東京都港区芝浦4-16-25 | TEL(043)284-2800(代) |
| 千葉営業所 | TEL(043)284-2800(代) | |
| 名古屋支店 | 名古屋市中区金山5-12-3 | TEL(076)248-0499(代) |
| 金沢営業所 | TEL(076)248-0499(代) | |
| 大阪支店 | 大阪市淀川区御幣島2-1-14 | TEL(086)434-0259(代) |
| 岡山営業所 | TEL(087)843-6531(代) | |
| 高松営業所 | TEL(087)843-6531(代) | |
| 福岡支店 | 福岡市東区多の津3-7-7 | TEL(099)246-0551(代) |
| 福岡九州営業所 | TEL(099)246-0551(代) | |
| (株)松本安全 | 松本市大村383-11 | TEL(0263)45-2181(代) |

保守点検のおすすめ ANZEN製品を長くご活用いただくため、保守点検サービス(有料)のご利用をおすすめします。お近くの支店または営業所までお問い合わせください。

ANZEN カスタマーサービス 0120-01-6361 当社の製品およびサービス、その他に関するお問い合わせは左記。(受付時間:月~金 AM9:00~PM5:00)



●発行所/安全自動車株式会社 営業企画部 販促企画グループ 東京都港区芝浦4-16-25
●ANZEN NEWS CHARGE 94号 (2022年1月発行)
※外観・仕様は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。



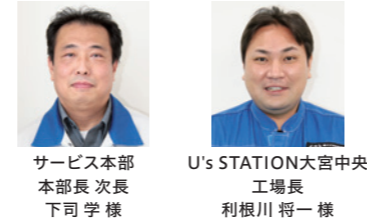
- ## INDEX
- 02 > 株式会社スズキ自販関東 U's STATION大宮中央 **小型**
 - 04 > 福島日野自動車株式会社 郡山支店 **大型**
 - 06 > 作業の平準化と軽労化、安全性を高める
タイヤサービス機器のご紹介
 - 08 > ANZEN WEBリニューアル・
メールマガジン配信のご案内
- A Happy New Year!!
-

株式会社スズキ自販関東 U's STATION大宮中央



●店舗情報
株式会社スズキ自販関東
U's STATION大宮中央
埼玉県さいたま市北区櫛引町2-604-1
TEL : 048-783-3871
従業員数 : 16名(メカニック5名)

●今回お話を伺った方



新車販売拠点と同様の設備と広大な展示スペースを備えた最新の中古車専門拠点



2021年6月12日に新規オープンした株式会社スズキ自販関東 U's STATION大宮中央。北海道から三重県まで日本列島の東側半分を商圈とし12の事業所を持つ、スズキ株式会社直系ディーラーの同社においても旗艦店舗に位置付けられる、3階建ての敷地・建屋に常時100台が展示可能な中古車専門店です。

U's STATION大宮中央店は1階および2階に各50台をストック可能な展示スペースのほか、スズキディーラー最新のBI(ブランドアイデンティティ)に則った、広々として落ち着いた雰囲気のあるショールームと納車室、そして直射日光や風雨にさらされにくい1階の屋内に設置された計9つの整備ストールを備えています。

余裕のある空間設計と最新設備でメカニックの働きやすい環境を創出

整備ストールにはアームタイプの“アルネオリフト”が3基、プレートタイプの“ファンタスリフト”が4基、ドライブオンタイプの“マルチリフト”が1基設置されていますが、機種ごとに設置場所を固めるのではなく、各機種をほぼ交互に配置しているのが大きな特徴です。その狙いについて下司サービス本部長は、「載せられる・載せやすい車はリフトのタイプごとに異なります。バン・トラックはアーム付きの方がプレートタイプより載せやすく、またエンジンをおろす際もアーム付きならばプレートが邪魔にならず作業性が良いです。しかしこれを特定の位置に固定すると運用の柔軟性が落ちるため、プレートタイプと

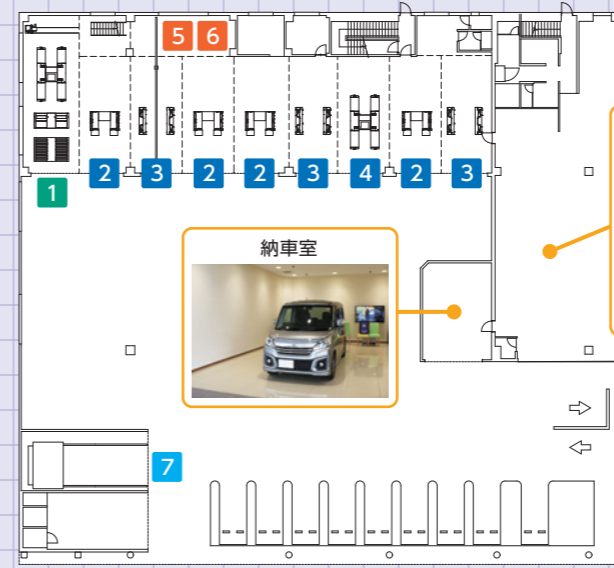
混ぜて配置しました。またクイック整備に適したドライブオンタイプは、すぐ作業し納車できるよう、出入口から最もアクセスしやすい場所に配置しています」と、入庫する車両と現場の実態に即した工夫を施しています。

また、同店の近隣にはマンションが林立しているため、騒音対策も大きな課題となっています。そのため、門型洗車機の最上級モデル“アペルトⅡ”を、2階の展示スペースにつながるスロープの真下に配置するとともに、オプションの静音システムを装着。コンプレッサーも整備ストールの中2階に配置して、エア使用時の騒音を低減しています。

“アペルトⅡ”にはさらに、ワックス洗車と下部洗浄装置のオプションも装着。最多で100台に及ぶ展示車両の洗車に加え、中古車新規持込登録の業務が頻繁に発生する同店において、「お客様に展示車両をご覧いただく際にはワックス洗車、中古車新規持込登録の際には下部洗浄が欠かせません。トラックやルーフキャリア付きの車両でも、手洗い洗車モードを使用すれば洗車の労力を大幅に軽減できるので、メカニックはもちろん営業スタッフも重宝しています」と利根川工場長。

電子制御装置整備を含む特定整備の認証を取得済で、ADAS(先進運転支援システム)のターゲットを常設した検査ラインも導入して、将来の指定取得に備えている同店。「月500台以上の整備と月50台以上の車検入庫を目指したい」という目標を達成するのは、そう遠い日のことではないでしょう。

図面でわかる! ここがポイント! 3種類のリフトをほぼ交互に配置し様々な車両への柔軟性を確保!



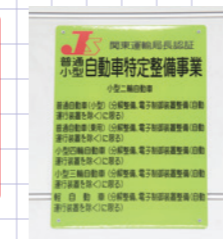
- 1 車検ライン(ラインマスター+カラー画像処理方式手動ヘッドライトテスター+ハイブリッドテスター+多軸式フリーローラー)
- 2 ファンタスリフト(BSC32KUVL)
- 3 アルネオリフト(NNZ30WPUR)
- 4 マルチリフト(MUS40U)
- 5 ホイールバルancer(neo221)
- 6 タイヤチェンジャー(CZ22-HP3)
- 7 門型洗車機アペルトⅡ(CMAP6200)

営業担当者のココがポイント!

作業効率化が出来る工場を目標に、工場づくりのサポートをさせていただきました。リフトは作業の効率化を考え、クイック整備・重整備ストールを分散し配置させていただきました。完成検査場にはマルチリフトを設け、最大限整備の効率化が図られていると思います。作業スペースも広く確保し、スポットクーラーを設置するなど、メカニックに配慮された作りとなっています。今後も快適にご使用していただけるように、アフターサービス面でも精一杯対応させていただきます。



(左:利根川工場長、中央:下司本部長、右:関東支店 笠原)



福島日野自動車株式会社 郡山支店



●店舗情報
 福島日野自動車株式会社
 郡山支店
 福島県須賀川市茶畑町25番3
 TEL：0248-63-7070
 従業員：65名(メカニック21名)

●今回お話を伺った方



メカニックの安全面と疲労軽減にこだわり 安心して作業に集中できる最新型工場が誕生



郡山市に本社を置く福島日野自動車株式会社様は福島県内に4支店・2営業所を展開するなど、地域の人たち、そして物の移動を支え、豊かで住みよい世界と未来に貢献するべく営業しています。

安全面にこだわった新工場のコンセプト

新工場のコンセプトを向うと真っ先に上がったのが安全面についてでした。旧工場では出入庫口が同じであるためどうしてもUターンやバックが必要で、危険も伴いました。そのため、今回の新工場では敷地に入る所から最終的に敷地を出る所まで一方通行となっています。また工場内もその一端を担えるよう、通り抜けができるスルーレーンを2レーン備えているため風通しもよくなったとのことで、夏場の快適な環境づくりにも貢献するのはと今から期待が高まっています。

他にも安全面で特徴的なのは、5レーン設けられたフロアリフトです。リフト使用時の作業員の転落防止としてスライド式落下防止装置を備えています。通常ではリフトの両端床面から引き出しのみのところ、新工場では反対方向の端まで自在に動かせるようになっています。小型車両を縦列で2台同時に作業する際に生じるスペースに誤って転落してしまうことがないように、今回の仕様を採用しました。

2柱・4柱を導入したことが疲労軽減にも繋がった

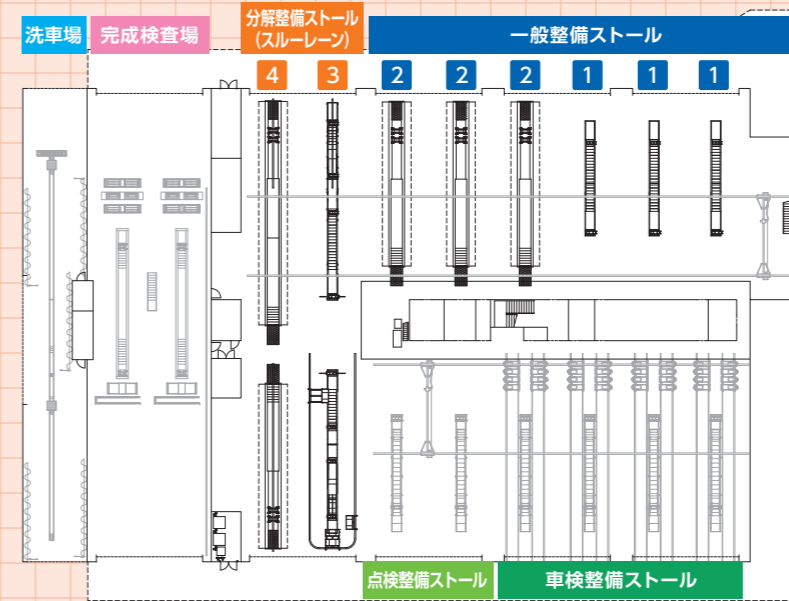
作業効率にも大いに繋がるのがメカニックの疲労軽減です。旧工場ではメインで使っていたリフトは1柱で、メカニックが車両下面に潜り込む形になるため、背中が汚れる、首が疲れるなど身体的負担が伴いました。しかし、新工場では2柱あるいは4柱リフトがメインになったことによって、立ったりしゃがんだりといった無駄な動きもなくなり、それがメカニックの疲労軽減となり延いては作業効率のアップに貢献しています。

照明・リールの架台を下げたことで作業効率にも貢献

車高の高い車両を扱う関係上、照明はできるだけ高い所となりがちですが、今回の新工場ではそれまで天井近く(約6mほど)に設置されていた照明及びリールの架台を4m付近に下げました。そうすることにより、車両をリフトアップする際に暗くなりがちだった作業者の手が明るくなり、作業効率もアップしました。リール架台もこの高さなら万一オイル漏れ等のトラブルがあっても、高所作業車を用意せずにハンゴで十分対応可能と大変好評です。

最新の整備機器・安全対策機器導入により、リニューアルした郡山支店。目標入庫台数達成に向けてさらなる飛躍を遂げていこう。

図面でわかる! ここがポイント! 最新の安全対策機器を納入し、生産性向上!



- 1 2柱式ツインパワーリフト×3基
- 2 2分割フロアリフト×3基、スライド式落下防止装置×3基
- 3 4柱式ツインパワーリフト×2基、エスコートレール×1基、エア式アクセスリフト×2基
- 4 3分割フロアリフト×1基、2分割フロアリフト×1基、スライド式落下防止装置×2基、エスコートレール×2基

営業担当者のココがポイント!

新工場完成まで長い間打合せをさせていただきました。メカニックの方が効率良く、なおかつメカニックの方の安全面を考慮した工場となりました。福島日野自動車株式会社郡山支店様はお客様と社員の皆様の事を考えられた素晴らしい支店となっております。今後はアフターサービスで満足いただけるようスピーディーに対応し、お力になれるよう取り組んでまいります。



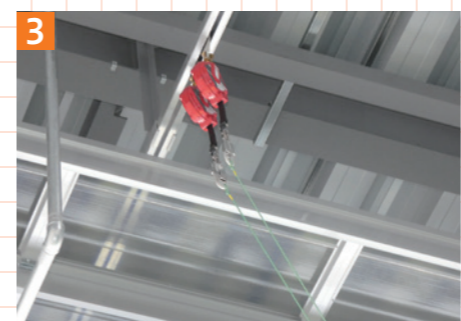
(左：石山主査、中央：柳沼主任、右：郡山営業所 細川)



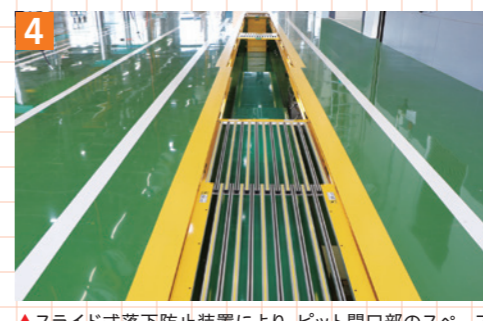
このページに掲載中の機器は左のQRコードよりカタログをご覧ください



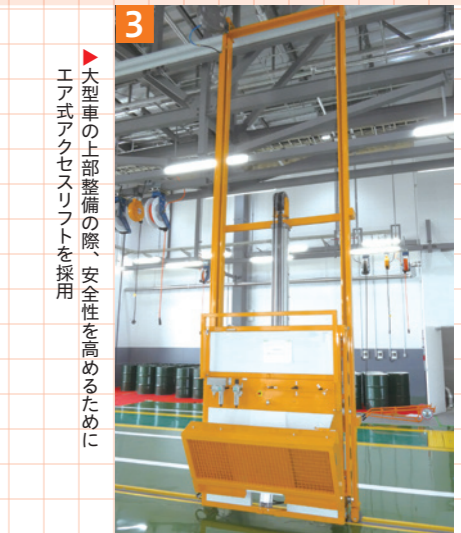
▲分解整備スツールはスルーレーンを採用。さらに、バリエーション豊富なリフトを納入したことで大型トラック、小型トラックの縦列整備を可能にし、作業効率が向上



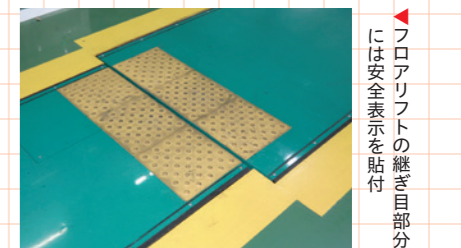
▲車体上での墜落防止にエスコートレールも備えている



▲スライド式落下防止装置により、ピット開口部のスペースを防ぐことが可能に



▶大型車の上部整備の際、安全性を高めるためにエア式アクセスリフトを採用



◀フロアリフトの継ぎ目部分には安全表示を貼付



◀車体落下の心配もなく作業に集中できるフロアリフト



◀一般整備は1柱・2柱リフトへの転換で疲労を軽減



◀照明及びリール架台は地上4mの高さで明るさを確保



◀壁を取り払い、中央での切り返し可能な洗車場

高いサービス品質を保持する作業の / 平準化と労務軽減、安全性を高める タイヤサービス機器のご紹介

省スペース化とコスパを両立させたモデル

WING CZ22

- 対応リム径は10～20インチ、12～22インチの2レンジによるチョイスが可能
- ロープロ、大口径の脱着作業がワンタッチで行えるQXレバーレスシステムを装備(オプション)



※写真はCZ22GT-HP3

POINT! サポートアームを1つに集約したオールインワンモデル「HP3」は省スペースによる設置が可能。それに伴う効率の良い動線が確保されることから、高品質サービスの平準化に寄与する売れ筋モデル

上級機種と遜色ない機能を搭載したスタンダードモデル

neo221

- ディスタンスに続きリム径も自動入力とすることでさらに測定時間を短縮
- 作業側への主軸を移動させたことで、腰への負担を軽減!



POINT! タイヤとホイールのベストの組み付け位置を表示するベストマッチング機能など、多機能化を推進することで作業者の熟練度に頼らない高品質な作業をサポート

オートマチック・デマウンドモード搭載 タイヤ外し作業を自動で行うことも可能

WING TORNADO

熟練の技が求められるビード落としからタイヤ外しまでの作業を自動で行ってくれるWINGシリーズのハイエンドモデル

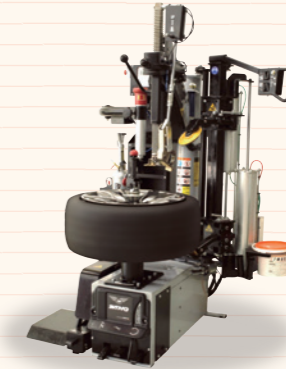


POINT! 全く新しい高剛性ボディー構造を採用し、直感的に操作できるタッチパネル、操作しやすいレバーを採用し、簡単に操作することが可能

作業性と安全性 作業品質の全てを高めた 新世代タイヤチェンジャー

WING CL-121A

新構造の支柱システム、パラレルリジット構造とセンターロック方式の作業でタイヤ交換サービスに革命を起こしたモデル



POINT! レバーレスシステム「QXプラス」(PAT)の採用により、超扁平タイヤなどの高剛性タイヤはレバーレス、一般タイヤは従来通りにレバーで作業する使い分けが可能

コンパクトでハイパワー! 大型車用タイヤチェンジャー

WING 718D

タイヤサイズに関係なくツールが常時タイヤ・リムのセンターにセットされるスクエアシステムとチェーンレスによるカウンターシステムを採用していることで高い作業性と安全設計が実現



POINT! ツールとチャックが同時にスライドするため作業性が向上

作業性と機能性 高精度の診断で 一步先を行くホイール balancer

Circuit702

装着再現性と作業性に優れたコーン方式を採用するCIRCUIT(サーキット)702はISO対応の10穴アダプター、乗用車コーンセットもオプション設定が可能



POINT! リム径、ディスタンスの自動入力、タイヤとホイールのベストマッチング機能など多彩な機能を標準装備

ものづくりの現場から ～開発者の声～

研修センターを開設し、ソフトを含めたプランニングでお客様をサポート



1967年(昭和42年)の創立から今年で55年。株式会社エイワはタイヤのパンク修理に用いるゴム製品の製造からスタートし、1989年(平成元年)には足回りの自動車整備機器の開発・製造に進出するなど日本の自動車産業を文字通り足もとから支える企業です。同社タイヤサービス機器は製品だけの供給に留まらず、作業動線などを含めたサービスやソフト

面も含めたフォローをユーザー様の店舗に直接行うなど、きめ細かいバックアップを行うことで高い評価を集めています。その体制を支えているのがトレーニングセンターです。サービス機器製造の進出時から当時のタイヤ業界としては初めてトレーニングセンターを開設、社員に対する研修だけでなく、ピットを開設されるショップへのフォローに役立てているとともに、製品改良を具現化する重要な拠点となっています。

同社のコンセプトは「技術の可視化」です。機器のデザインを通じて、タイヤサービス作業のプロフェッショナルの技術をカーユーザーに伝えていきたいという思いが込められています。同社の中勝社長はエイワブランドを語ってくれました。「タイヤチェンジャーにサポートアームがついていることでカーユー

ザーは他店と異なるサービスを受けられる期待感を持っていただくかもしれません。一方、作業を行う方々には他店と異なるアドバンテージを持つことで、技術に自信を持っていただきたいと思えます。また、ドライバーとのコミュニケーションの中で作業について説明できれば、より深く作業を理解していただき、それに伴って付加価値をご提供できると考えます」。

同社のタイヤサービス製品が数々のグッドデザイン賞を受賞されている理由は、サービスに横たわる様々な課題をクリアしながら、その工夫をデザインに生かし、作業者とカーユーザーをつなぐ唯一無二のツールであるからといえるでしょう。

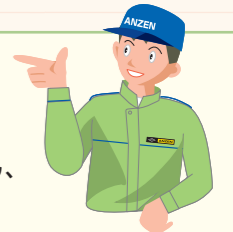


<今回お話を伺った方>

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 
株式会社エイワ
代表取締役
社長
前中 勝彦 様 | 
専務取締役
統括本部長
前中 忠 様 | 
取締役
商品部長
杉村 幸二 様 | 
営業部
広域部長
松葉 久典 様 |
|--|---|---|---|

作業者の安全を守るタイヤサービスの必需品

エア充填時におけるタイヤ破裂の危険性は言うまでもありません。作業者の安全を守るため、より良い職場環境を整備するにはセーフティケージはもちろん、安全性と作業性を両立させたエア充填機と防風シートのセットは必需品です



エア充填機 PASCAL10



POINT! 延長コード付き緊急停止ボタンは任意の位置に設置可能

防風シート付きセーフティケージ TBC-1/ESC-1/PTC-1PC



TBケージ (TBC-1) + 防風シート (WBS-1)



LTケージ (ESC-1) + 防風シート (WBS-1ESC)



PCケージ (PTC-1) + 防風シート (WBS-1PC)

POINT! セーフティケージに保護シートを付けることで爆風の衝撃を緩和。また、エア充填機も取り付け可能(オプション)